

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業管理事務費 [高齢者日常生活支援事業管理事務事業]					
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号 4
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☒ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの					
担当部署・課長名		地域包括ケア推進（高齢介護）課		高齢者支援		係	課長名 石嶋 洋平
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号		2 - 2
【施策名】 高齢者保健福祉の推進					総合計画書(ページ)		51
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）			
	市内在住の65歳以上の方			市内65歳以上の高齢者数（令和3年4月1日）			
	→						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）			
住み慣れたまちで高齢者が安全に安心して暮らせる。			不明				
→							
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）				
高齢者日常生活支援事業を実施する。			実施事業数				
→							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標 令和5年度目標
	対象指標	①の数値	人	23,062	23,275	23,389	
	成果指標	②の数値	-	-	-	-	
	目 標	②の目標値					
目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。）							
庶務的な事業であるため、目標設定にはなじまないものである。							
活動指標	③の数値	事業	15	15	11		
3 経費	事業費（実績）		円	147,621	76,668	41,620	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	147,621	76,668	41,620	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.10	0.10	0.10	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	978,621	914,668	866,620		
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く						
	高齢者人口の増加等により事案に対してきめ細かい業務を遂行することが難しくなっている。						
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く						
	引き続き高齢者日常生活支援事業を円滑に実施するため、庶務を行う。						